

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6 年 3 月 31 日

事業所名

はっぴーきっず

|                  |   | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標 |
|------------------|---|--|----|---------------|-----|---|------------------------------|
| 環境・<br>体制整備      | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | 3  | 1             |     | 宮城県への届け出にて、定員に対する部屋スペースにおいては、十分確保されている。   |                              |
|                  | ② | 職員の配置数は適切である   | 4  |               |     | 届け出通り、配置基準は満たしています。   |                              |
|                  | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | 4  |               |     | 施設全体がバリアフリー化がなされ、車イス使用に対しても、安全に移動可能になっています。   |                              |
| 業務改善             | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している                | 3  | 1             |     | 情報共有を職員間で行いながら、支援者としての支援力を高めるように行っています。   |                              |
|                  | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | 4  |               |     | 保護者のニーズや要望を考慮し、今後のサービスの質の向上に努めています。   |                              |
|                  | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           |    |               | 4   | 現在掲載準備中に伴い、近いうちに掲載させていただきたいと思っております。  |                              |
|                  | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             |    |               | 4   | 現在、第三者評価においては検討中のため、早いうちに第三者評価の取り組みを行っていく予定です。                                      |                              |
|                  | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | 3  | 1             |     | 内部研修・法人内研修・外部研修に参加しながら、資質向上に努めております。  |                              |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 4  |               |     | ・現状において、個々の個別支援計画に沿った支援を確実に実行しております。・児童発達支援管理者が中心となり、各職員が連携して最終的に計画作成を行っている。        |                              |
|                  | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している                   | 4  |               |     | 児童の状況を確実に把握できるようなアセスメントツールが利用されている。   |                              |
|                  | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | 3  | 1             |     | 職員会議時やミーティング時を利用し、共通認識の上プログラム立案を図っている。  |                              |
|                  | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | 4  |               |     | 基本的な生活の流れは崩さず、活動に関しては変化をつけるよう、職員共通認識で行っている。   |                              |
|                  | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | 2  | 2             |     | ・個々の特性や学年等の違いもあるため、それぞれに行き届くことができるよう行っている。・長期休暇の場合は、外出や課題取組等、できるだけ楽しみの持てる支援を心がけている。 |                              |

|                |   | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標 |
|----------------|---|---|----|---------------|-----|---|------------------------------|
|                | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している                      | 3  | 1             |     | ・個別支援においては、学校の課題への取り組み、集団活動においては、リズム運動・レクゲーム等静と動の活動を取り入れながら、進めています。                                 |                              |
|                | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している                        | 4  |               |     | 職員ミーティングにて、療育や活動等が円滑に行えるよう取り組んでいます。   |                              |
|                | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                   | 3  | 1             |     | 支援の振り返りについては、業務終了時や次の日に行い、状況確認や課題等について確認している。   |                              |
|                | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                               | 4  |               |     | ・日々の様子を個別支援計画に沿って記入し、今後の支援につなげることができるように行っている。・基本的にケース記録により、状態を記載していると共に連絡帳により、家族との状況把握についても行われている。 |                              |
| 関係機関や保護者との連携関係 | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                             | 4  |               |     | ・個々の計画に基づき、児童の様子や取り組み状況確認しながら行っています。・自発管が中心となり、各職員が連携して最終的には見直し等の必要性について全体で判断している。                  |                              |
|                | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている                                       | 3  | 1             |     | 児童自身が見て・触れて・体験して考えられる活動を大切にしながら、支援しています。  |                              |
|                | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | 4  |               |     | 通常は、自発管または管理者が入るように行っている。   |                              |
|                | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 4  |               |     | ・学校の先生や保護者等との連携を図りながら、行っております。・年度開始前に学校との連絡調整にて、確実に行われています。   |                              |
|                | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             |    | 4             |     | 児童個々の状態や保護者の意向等により異なりますが、現状において、特に主治医との連絡体制については行われておりません。  |                              |
|                | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | 1  | 2             | 1   | 児童の状況や保護者の意向において変化していくが、現状担当者会議等において情報共有を図ってはいる。  |                              |
|                | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | 1  | 1             | 2   | 現状は就学児童を中心に受け入れており、今後サービス必要時においては、情報提供を行っていきたい。   |                              |

|            |    | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|---------------|-----|--|------------------------------|
| 機関や保護者との連携 | ②⑤ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                       | 3  | 1             |     | 研修等の参加は随時行われており、資質向上に努めている。  |                              |
|            | ②⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある                               | 3  |               | 1   | 現状において、他放デイ等との交流は図られていることから、今後においても、引き続き交流が図れるよう配慮していきたい。                                  |                              |
|            | ②⑦ | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している   | 3  |               | 1   | 特に自立協主催の研修においては、積極的に参加させていたでいる。  |                              |
|            | ②⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                     | 4  |               |     | 送迎時やモニタリング聞き取り時等、随時お話をを行いながら、課題等については九通認識の上支援がなされている。                                      |                              |
|            | ②⑨ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                    | 1  | 3             |     | 保護者の状況にもよるが、出来る限り支援は行われている。  |                              |
| 保護者への説明責任等 | ③⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                   | 3  | 1             |     | 契約時や個別支援計画説明時に、出来るだけ詳しく説明させていただいている。   |                              |
|            | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                           | 4  |               |     | 保護者様が気軽に相談頂けるような雰囲気作りを心がけているとともに、その都度こちら側からの助言の必要性に応じた助言をさせていただいている。                       |                              |
|            | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                       | 1  |               | 3   | 現状はなかなか行える場がないため、今後保護者の重要性を考えた保護社会党の実施を検討していきます。   |                              |
|            | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 4  |               |     | 苦情体制に伴う体制整備については、契約時確実に説明させていただいている。また、現状においては苦情等が見られてはいないことから、苦情発生時には、体制通りにしっかりと対応していきたい。 |                              |
|            | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                   |    |               | 4   | おたより帳や口頭で連絡しています。行事等に関しては、写真を配布して様子を伝えていきます。   |                              |
|            | ③⑮ | 個人情報に十分注意している  | 4  |               |     | 契約時に「個人情報保護に関する同意書」により、職員共通認識の元十分な注意がなされている。   |                              |
|            | ③⑯ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                | 4  |               |     | 児童個々の状態に合わせて、わかりやすくお話をすることで、意思疎通が図れるように行われている。   |                              |
|            | ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                 |    | 1             | 3   | 感染症等の問題もあるため、いまだに住民招待までは至ってはいないものの、今後行政区長や民生委員を含めた行事への招待を検討していきたい。                         |                              |

|             |    | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|--|----|---------------|-----|--|------------------------------|
| 非常時等の<br>対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | 1  | 1             | 2   | マニュアル整備は行われているものの、保護者周知という点においては不十分な点もあるため、今後周知が図れるよう検討していきたい。                           |                              |
|             | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 4  |               |     | 年間計画により定期的な訓練（火災発生時の避難訓練、地震・津波発生時の避難訓練）は、確実に行われている。                                      |                              |
|             | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 4  |               |     | 研修に関しては、内部研修並びに法人独自での研修更には外部研修も含めた研修により、適切な対応を含め職員周知は確実に行われている。                          |                              |
|             | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 4  |               |     | 契約書、重説の内容の通り組織で決定、対応がなされており、内容説明に関しても、契約時に確実に行われ、合わせて計画にも記載がされている。                       |                              |
|             | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 3  |               | 1   | 現状アレルギーについては、主治医等との連絡が必要な児童がいないため特に行われてはいないが、今後必要時には、確実に主治医との連携を行い、指示書に従った支援を行っていくこととした。 |                              |
|             | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 4  |               |     | 常にヒヤリハット提出時においては、管理者の承認元職員周知がなされ、今後の対応等についても検討を行うこととしている。                                |                              |

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。